

ギカイレポート



総務経済常任委員会

11月28日をもって、総務経済常任委員長に粕谷不二夫議員が就任しました。



健康福祉常任委員会

委員会審査 10月10日・11月15日

所沢市の未来に向けての 子育て支援についての提言



こども未来部に提言を手渡しました

本市の現状において、核家族化の進行による親の孤立感や育児不安の増加、学童の待機児童や狭隘化きょうがいなど多くの課題が残っていることから、「さらなる子育て支援の充実」が必要だと考え、委員会として提言する。

- 1 緊急待機児童対策として、放課後児童施設の拡充はもちろんのこと、既存施設や学校施設の活用を含めた生活クラブ・児童クラブの定員の拡大を図り、あらゆる手段を駆使して待機児童ゼロを早期に実現すること。また、国や県の制度も積極的に活用し、迅速な対応を行うこと。
- 2 学童保育については、地域の偏在化の課題解決に取り組みながら質と量の確保を進め、子どもの最善の利益を守るために、学童保育が子どもにとって安心して過ごせる暮らしの場であり続けること。また、「所沢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」の第10条第2項に基づき、学童保育専用室の確保を徹底し、子どもたちが安全で快適な環境で過ごせるようにすること。
- 3 質の高い保育サービスを提供するため、保育士の増員を進めるとともに、保育現場の実態調査を行い、保育士の労働環境の改善に積極的に取り組むこと。これにより、保育士の確保と離職防止を図り、安定した保育環境を実現すること。
- 4 保育園、幼稚園及び小学校で実施されている保護者向けアンケートについて、潜在的な利用希望者のニーズを正確に把握すること。具体的には、令和5年度実施のアンケートにおいて活用したWebアンケートのさらなる推進や、回答の負担を軽減するための設問の見直し、回答期間の柔軟な設定、保護者への周知強化などを行い、多くの意見を集められる環境を整えること。これにより、子育て世帯が求める具体的な支援内容やサービスのニーズに対して、効果的かつ利用者目線に立った施策を実施すること。
- 5 生活困窮家庭、ひとり親家庭、障がい児を育てる家庭に対する支援を強化し、経済的、精神的なサポート体制を充実させるとともに、就労支援や子育てに関する相談窓口の拡充を図り、あらゆる家庭が安心して子育てを行える環境を整備すること。
- 6 ヤングケアラーの実態調査を実施し、その支援環境を充実させること。子どもが過度な負担を抱えず、学業や生活を両立できるよう、早期支援を行い、関係機関と連携して適切な支援体制を整備すること。さらに、ヤングケアラーの負担軽減に向けた支援の拡充も検討し、子どもが伸び伸びと成長できる環境の実現を目指すこと。



市民文教常任委員会

委員会審査 10月22日

所沢市における特別支援学級の充実について

並木小学校 難聴特別支援学級「すずらん学級」の授業を現地調査

●すずらん学級 令和6年4月から新設された、聴こえにくさのある児童一人一人の聴こえ方に合わせた学習を進めることのできる学級のこと。





建設環境常任委員会

《報告書》



行政視察 10月28日▶10月29日

委員長のひとこと



愛知県
安城市

■中心市街地拠点整備事業

まちのにぎわいと情報発信地として、野外の広場を「願いと広場」として細分化した貸し出しや、図書館1階部分の一部を柔軟な条件で貸し出しを行うなど、飲食もできることでにぎわいの創出に努めていました。また、図書館では自動貸出機の導入を進め、予約した本を24時間いつでも受け取りが可能になっており、このような図書館と融合されたまちづくりは大変参考になりました。



愛知県
名古屋市長

■道路と鉄道の立体交差事業

鉄道事業者の費用負担は1割でありながら、事業化はなかなか難しく、特に鉄道が日々運行している中での事業の難しさを、視察を通して実感させていただきました。
本市でも2箇所の工事が進んでおりますが、まだまだ開かずの踏切もありますので、今後も安心・安全のため、委員会としてしっかり取り組んでまいります。



議会運営委員会

《報告書》



行政視察 11月11日▶11月13日

委員長のひとこと



三重県
四日市市議会

■通年議会の運用

■本会議におけるペーパーレス会議システムの導入

四日市市議会は、本市と人口が同規模で同じ一般市の中でも議会改革が先行しており、最も早い時期の平成23年に通年議会を導入しています。
また、ペーパーレス会議システムにモアノートを採用しているため、これまで視察してきた議会が採用しているサイドブックと比較することができ、とても参考になりました。



三重県
鳥羽市議会

■通年会期制の運用

■本会議におけるペーパーレス化

鳥羽市議会では、平成26年より通年会期制を導入しています。また、ペーパーレス会議システムを使用せず、ペーパーレス化を進めている事例として視察しました。
ペーパーレス化の推進は執行部からの要請ではなく、議会主導で行われており、議員の意識の高さと結束力を見習うべきであると感じました。



愛知県
刈谷市議会

■本会議におけるペーパーレス会議システムの導入

令和6年6月定例会からペーパーレス会議を導入しており、最近の導入事例として大変参考になりました。これまで、埼玉県議会、墨田区議会、四日市市議会、鳥羽市議会、刈谷市議会を視察しましたが、埼玉県議会と刈谷市議会では完全ペーパーレスが実現できていました。課題の整理もできてきましたので、所沢市議会も完全ペーパーレス化に向けて取り組んでいきます。



広聴広報委員会

《報告書》



行政視察 11月18日▶11月19日

委員長のひとこと



埼玉県
越谷市議会

■越谷市学生議会

当時の議長の「越谷市の2つの大学との連携を強化したい」という思いと、次世代を担う若者に、市政や議会への関心を深めてもらうことを目的に、平成22年度から大学生を対象とした学生議会を開始しました。市内には越ヶ谷、越谷北、越谷西、越谷東、越谷南高校の普通科、越谷総合技術高校には工業科・商業科・家庭科があり、通信制の高校もあることから、参加者を高校生まで広げること、さらに幅広い年齢層の声を聴くことができ、越谷市に愛着を持つ生徒がもっと増えるような気がしました。



山形県
南陽市議会

■南陽みらい議会

山形県遊佐町の「少年議会」をアレンジしたものであるとの話を聞いたことから、大変興味が湧き、今回の視察を行いました。本市でも今年度から高校生を対象とした議会報告会を始めたばかりですが、人口減少が進む中、子どもたちが生まれ育った地域に関心と愛着を育み、進学や就職でいつかは本市を離れても、いつの日か戻りたいと思ってもらえるような、さらなる取組をしていきたいと改めて思いました。